

各地域支え合い協議会について

資料 4
第1回 よこすか地域
支え合い協議会
令和2年11月19日

1 大津地域支え合い協議会（7月20日再開）

10月1日に「No.1 大津支え協だより」を発行。初回は、支え合い協議会の活動を地域の皆さんに知っていただくのが目的。各町内の掲示板と回覧板にのせ、周知を行った。今後協議会では、年に2回の発行を目指し、地域の取り組みを紹介しながら、内容を充実していく。

2 追浜地域支え合い協議会（7月20日再開）

2回目のアンケートを実施予定。今回は、現在の地域課題の抽出とともに、地域活動の支え手側になれるか否かも設問に入れていく。

その結果から、協議会主催で支え合い養成講座を開催しても良いのでは等の意見が挙がった。

3 田浦地域支え合い協議会（9月3日再開）

今年度から地域に見合った話し合いを目的とし、「船越」「田浦」「長浦」それぞれの地域で座談会方式とし、地域の生活課題について話し合いを進めている。

長浦では、買い物問題について。田浦では、買い物、ごみ捨ての問題について。

船越では住民有志の活動について情報提供いただいた。今後はそれぞれで出た意見から展開方法を検討していく。

4 浦賀地域支え合い協議会（7月28日再開）

コロナ禍での支え合い活動について各町内の動きを共有した。

また、市より「通いの場」の定義と考え方について説明。今後浦賀地域でどのように考え、展開にしていけるのか、意見交換を行いながら検討していく。

5 北下浦地域支え合い協議会（9月15日再開）

構成員の入れ替わりもあり、協議体の役割について全体で共有。その後、昨年度のアンケート結果を読み合わせ、今回は記載内容をさらに深掘していく。

6 久里浜地域支え合い協議会（7月27日再開）

ボランティアチームの会議では、大きな問題として「ごみ」問題が挙げられたこと、災害時の避難訓練では、地域がどの程度カバー出来るのか等全体で意見交換を行った。

また、感染症予防のため人と人の密着が出来ない中、地域の支え合いはどのようにしていったら良いのか、次回の宿題となった。